

広報 いずも

第76号 平成20年(2008)5月15日発行

吉岡隆徳記念

第62回 出雲陸上競技大会

目次

健康増進計画を策定	2~3
地域省エネルギービジョンを策定	4~5
アグリビジネススクール受講生募集	6
お知らせ	12~15

出雲市民憲章《出雲市民の誓い》

世界に誇る「環境のまち」をつくります
自然を守り、美しく清らかな心を大切にす環境のまち出雲



健脚を競い合う子どもたち

大会終了後には、出雲市出身でオリンピックなどにも出場した土江寛裕さんらによる陸上教室が開催されました。参加した小中高生らは、走るための基本動作などについて直接指導を受けるとともに、陸上の楽しさを学びました。



小学生に走るフォームを指導する土江寛裕さん

吉岡隆徳記念第62回出雲陸上競技大会が、4月19日・20日に浜山公園陸上競技場で開催され、小学生から一般まで約1000人の選手が日ごろの成果を発揮しました。

同大会は、今回から男子円盤投種目が日本グランプリシリーズに位置付けられ、オリンピックなどの代表選考を兼ねる大会として行われました。また、国内トップ選手による招待レースも行われ、トップレベルの走りに、会場は拍手と歓声がわき起こりました。



男子300mでアジア新記録を樹立した金丸祐三選手(法政大)

【今大会の主な記録】

- 招待男子300m
金丸祐三(32秒32) アジア新・日本新
- U20男子円盤投
堤 雄司(55m57) Jr日本新
- 中全男子4×100mR
出雲一中(44秒17) 大会新